平成２７年度石狩教育研修センター
　ＩＣＴ実技研修講座

動　画　編　集
（Windowsムービーメーカー）
講座

日時　2015/08/10(月) 13:00～16:00
場所　北広島市立東部中学校PC室

１．はじめに

1 ビデオ編集ソフトとは　～Windows　Live　ムービーメーカーについて～

ビデオ編集とは読んで字の通り、ビデオを編集することです。もちろん撮影したビデオをそのままテレビやプロジェクタに接続し、見せることはできます。しかしムダに撮影した場面も多いですし、早送りして見せるのもかっこ悪いですよね。見せたい部分を選び、効果をつけ、タイトルやＢＧＭを入れる（このことを編集という）だけで、ぐっと引き締まった映像になり、子どもたちや見る者の心を引きつけます。

近年パソコンの性能が急激に向上し、ビデオカメラもデジタル化されたためパソコン上でビデオの取り込みから編集、ＣＤの作成まで全て行えるようになりました。ただし、ビデオの編集には非常に大きな負担をパソコンにかけるため、途中で動かなくなることがよくあります(T_T))。また、ビデオ編集という作業は、凝ればこるほど時間がかかるのは今も昔も変わりありません(^^;)

さて、本日講習で使用する「Windows Live ムービーメーカー」（以下ムービーメーカー）は数あるビデオ編集用ソフトの一つです。パソコン上で　①ビデオの取り込み　→　②編集　→③保存（パソコンやCD、デジタルビデオカメラに保存）といった作業が行えます。

ムービーメーカーはWindowsマシンには最初から搭載されているソフトです。(Windows８には入っていません)「左下のスタートボタン　→　全てのプログラム　→　アクセサリ」をクリックすると出てきます。お金を出せば機能がさらに充実したソフトを買うことが出来ますが、必要十分な機能はそろっています。最初にビデオ編集を行うには十分だと思います。高いソフトを買ったからといって綺麗なかっこいいビデオができるわけではありません。アイデア次第なのです

初心者がビデオ編集を行うには機能が絞られており、分かりやすく使いやすいソフトです。
パソコンに負担をかけないのも利点です。そしてなにより、最初からパソコンに入っているのが魅力的です。基本的な操作方法や手順は、どのビデオ編集ソフトも基本は同じですので、ムービーメーカーが使えるようになると、他のメーカーのビデオ編集ソフトも使えるようになると思います。

それでは、今日はビデオ編集を基礎から学び、実践してみましょう(^^)/

2　学校現場におけるビデオ編集ソフトの活用方法

それでは、編集したビデオは学校現でどのように生かされるでしょうか。あくまでも一例ですので、使い方はアイデア次第です。

■集会で・・・行事が終わった後に、自分たちの活躍の場面を見ると子どもたちは盛り上がります

■行事で・・・開閉会式のオープニングやエンディング

■委員会活動で・・一度おぼえると、子どもたちの方がパソコンの操作は上手です。

■授業で・・・実験や作業の手順などを事前に制作しておくといいかも

■保護者へ・・懇談会などで、子どもたちの生き生きとした活動が見せられます

■他のソフトと一緒に（マルチメディア）・・パワーポイントに動画をはりつけることもできます。プレゼンテーションするときに、ちょっとした動画があると説明が分かりやすいです

■学級文集の付録として・・CDやDVDに、撮りためた写真のデータと一緒に、行事の様子などのビデオを編集して入れると喜ばれます

■ホームページ上に公開・・生徒の様子は個人情報でいけないですが、学校紹介などに使えるかもムービーメーカーでは非常に軽い（容量の少ない）動画に編集することが簡単にできるので、HP上に公開する動画の編集には適しています。

3 ムービーメーカーで具体的にできること

ムービーメーカーはWindowsマシンに標準で入っている無料ソフトだからといってバカにしてはいけません。ビデオの取り込み、ＣＤへの保存以外に、以下の様なことができます。

■複数の動画をくっつけて一つにする【結合】

■動画の中の不要な部分をカットする【トリミング】

■タイトルをつける

■動画の途中にキャプション（字幕）をつける

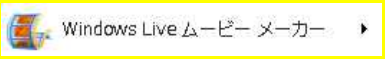
■ＢＧＭを追加する

■動画と動画の間に切り替え効果を挿入する

２．実践編①
ムービーメーカーの大まかな流れを学ぶ

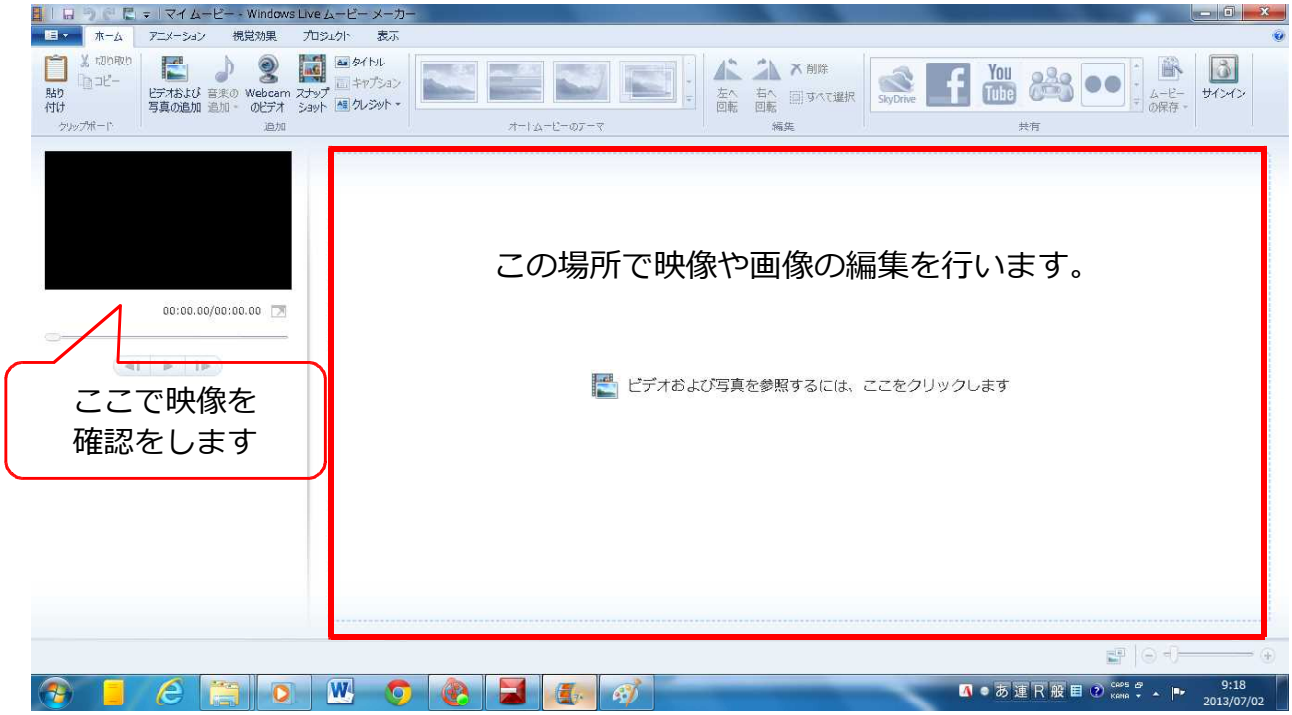
0 ムービーメーカーの起動

（１）ムービーメーカーはWindowsにプリインストール（あらかじめWindowsの標準機能としてパソコンに搭載）されているソフトです。以下の手順で起動します。

①左下のスタート ボタンをクリック
②［すべてのプログラム］を選択　※この時点で見つけたらクリック
③［Windowsムービーメーカー］ 

をクリックする

（２）下のような画面になります



1 ビデオの取り込み　※今回はCD-Rに保存したデータを利用します

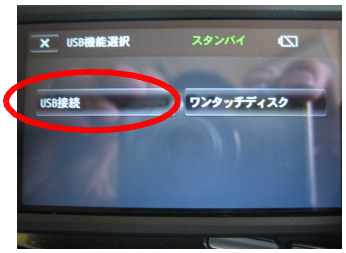
ビデオの編集作業を行う前に、素材となるビデオ（動画）や画像（写真やイラストなど）、オーディオ（ＢＧＭなどに利用する音楽）をパソコンに一度取り込む必要があります。一般的にこのような取り込み作業をキャプチャの取り込みといいます。

取り込みには、「デジタルビデオカメラ（以下ＤＶＣ）とパソコンを直接接続する方法」と「ＳＤカードやミニ DVD、メモリースティックなどのメディアに保存されている動画データ（をパソコンに保存したもの）から取り込む方法」　があります。

（１）デジタルビデオカメラとパソコンを直接つなぎ、撮影したビデオを取り込む方法。

①最近はUSBケーブルを使って、デジタルビデオカメラとパソコンを接続します。

②カメラの画面を開き、電源を ON にすると右のような画面になります。USB 接続をタッチして選択します。



③パソコンの画面上に下のような取り込み画面が出ますので、必要な映像をパソコン内の「マイビデオ」などに保存する。

（注）映像を編集するパソコンは、画像を取り込んだものを終始使ってください。
USB データなどで持ち運びして違うパソコンでは使用出来ません。

とりあえず、パソコンに映像が保存されれば、準備完了です。

最近の DVC であれば、DVC とパソコンを USB ケーブルで接続できたり、SD カードなどに直接動画を保存できるので、取り込みも非常に簡単になっています。

取り込み方法は、次の（２）で説明する「メディア（CD・DVD・SD カードなど）からパソコンに保存したビデオを取り込む方法」を参照してください。

残念ながら WindowsXP のムービーメーカーでは、ハイビジョンビデオカメラで撮影した動画を取り込んだり、編集することはできません。

Windows Vista でははじめから対応（一部のみ）しているものの、XP ではソフトを使用しないと取りこめません。VideoStudio のようなビデオ編集ソフトが必要です。

ただし、HDV 形式のカメラであれば、DV に変換して転送するモードにすることで特別なソフト無しで Windows に取りこむことができます。

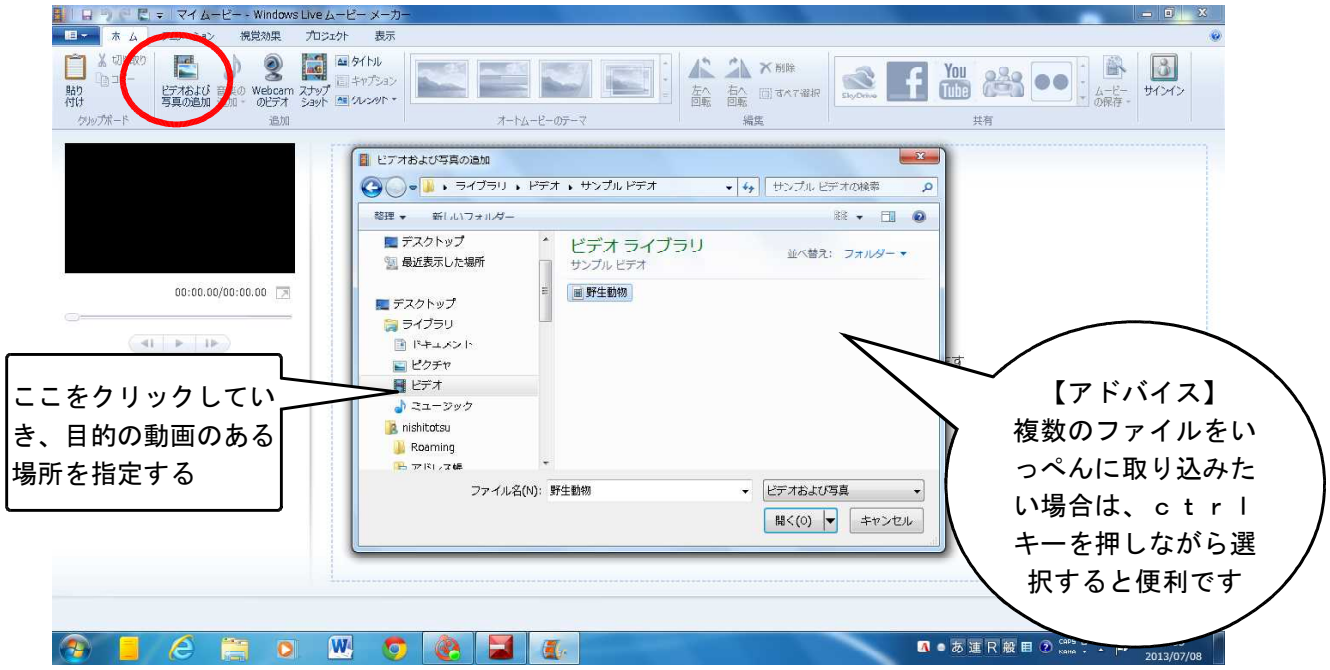
詳しくは、お使いの DVC の取扱説明書をご覧ください。

（２）メディア（CD・DVD・SD カードなど）からパソコンに保存したビデオを取り込む方法

①データが保存されているメディアをパソコンに読みこませます

②作業ウィンドウの「ビデオおよび写真の追加」をクリック

③下の様なポップアップウィンドウが出てくるので、ファイルの場所を指定し、使用したい動画や写真をWクリックする。



【アドバイス】

■動画以外にも写真などの画像や音楽を取り込みたいときは「音楽の追加」をクリックします

■ムービーメーカーに取り込める動画の種類（フォーマット）は決まっています。

ファイルの形式はファイル名の後についている「拡張子」で判断できます。これ以外の形式のファイルは取り込みができません。（最近の DVC では、mpeg4 形式で記録されるものも増えています。.mov 形式もたまにあります。）

その場合はファイルを編集できる形式に変換しなくてはなりません。変換するためには別なソフトを使う必要があります。といってもフリーソフトで変換できますので、インターネットで、「動画　変換」などと検索してみてください。いっぱい出てきます。

約束事ですが動画を変換する作業は動きが軽いソフトを使ってもそこそこ重たくなります。そこだけはあきらめてください。一番いいのは何かをしているときに PC を離れるときに変換をするのがベストです！！

【ムービーメーカーで編集できるファイルの拡張子】

［ビデオ ファイル］　.asf、.avi、.m1v、.mp2、.mp2v、.mpe、.mpeg、.mpg、.mpv2、.wm、.wmv

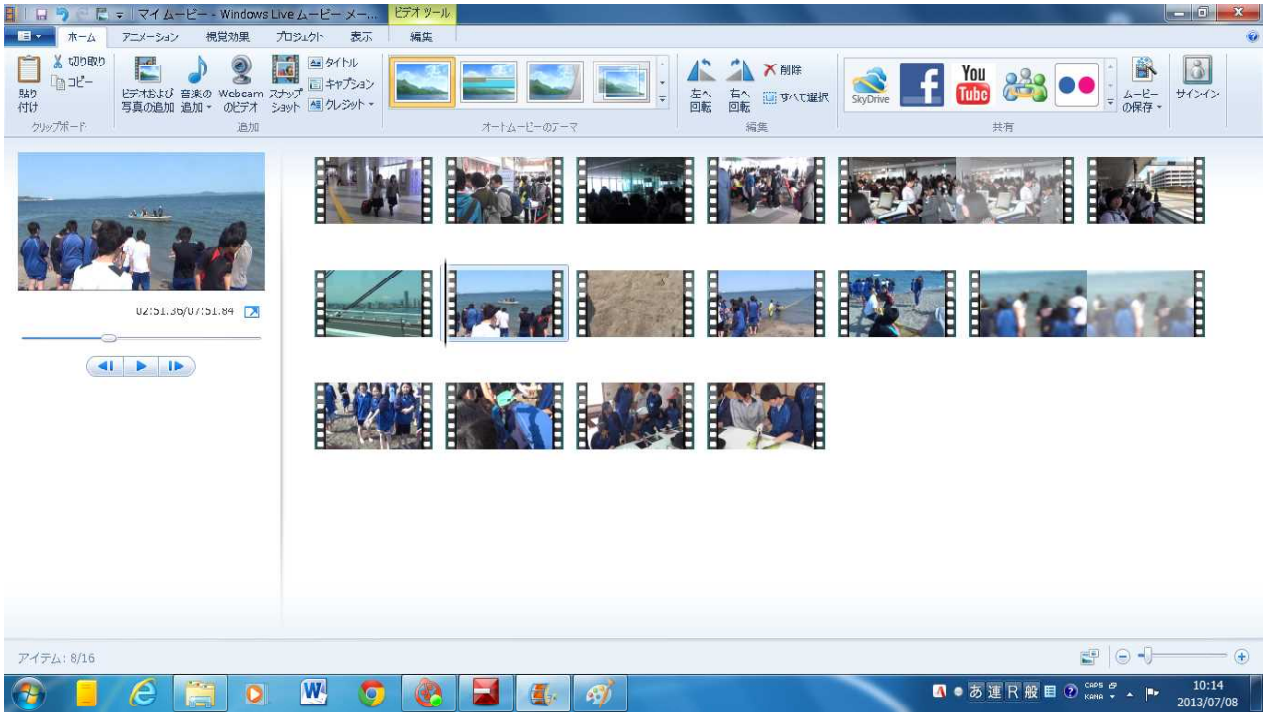
［画像ファイル］　.bmp、.dib、.emf、.gif、.jfif、.jpe、.jpeg、.jpg、.png、.tif、.tiff、.wmf

［オーディオ ファイル］　.aif、.aifc、.aiff、.asf、.au、.mp2、.mp3、.mpa、.snd、.wav、.wma

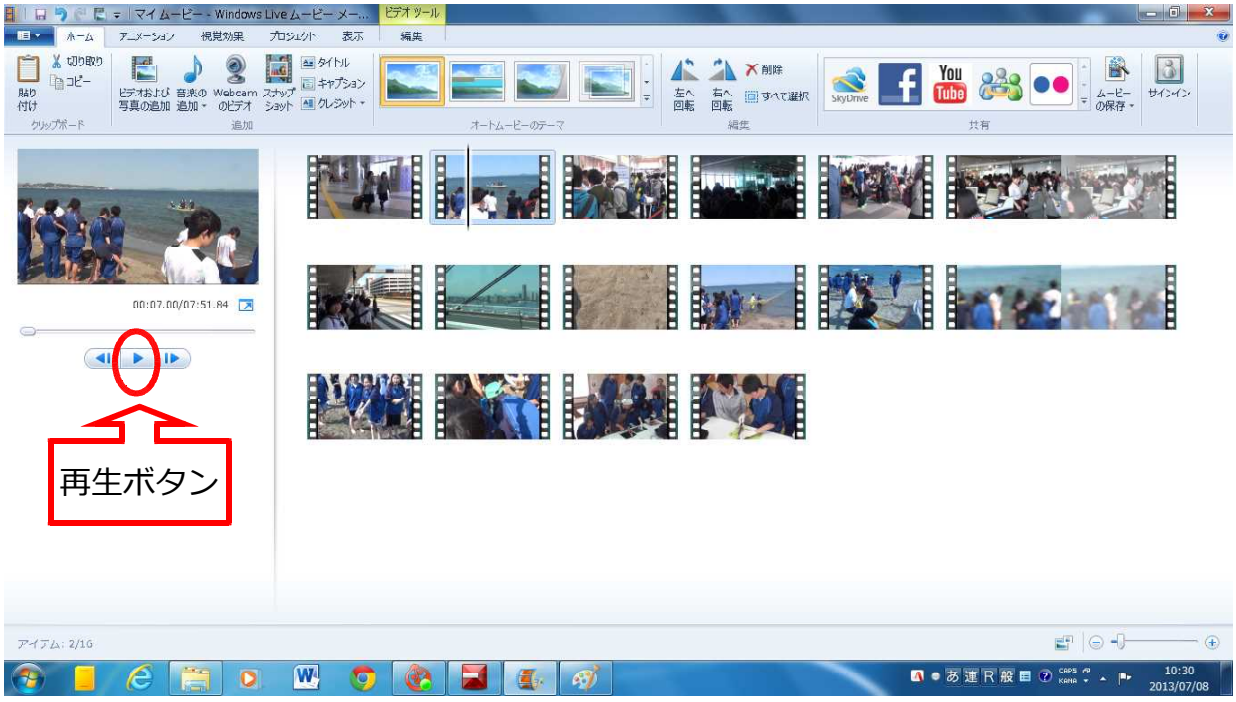
2【編集①】動画や画像を並べてみよう

（１）動画ファイル（クリップ）をならべる

①１つ１つのフィルムの形をしたものが１つずつの映像（クリップ）です。
その順番を入れ替えたり、短くしたりしていきます。



②画面左側の「プレビューモニタ」の再生ボタンをクリックすると、単純に動画（クリップ）が連結して再生されます。



（２）動画ファイル（クリップ）を**並べ変える**

編集するクリップの順番を変えたいときは、クリップをドラッグすることで簡単に変えることができます

クリップを１つドラッグし、移動させるとクリップの手前に灰色のラインが表示されるのでマウスから指を離す。その線がある場所に移動します。

（３）動画ファイル（クリップ）を**削除する**

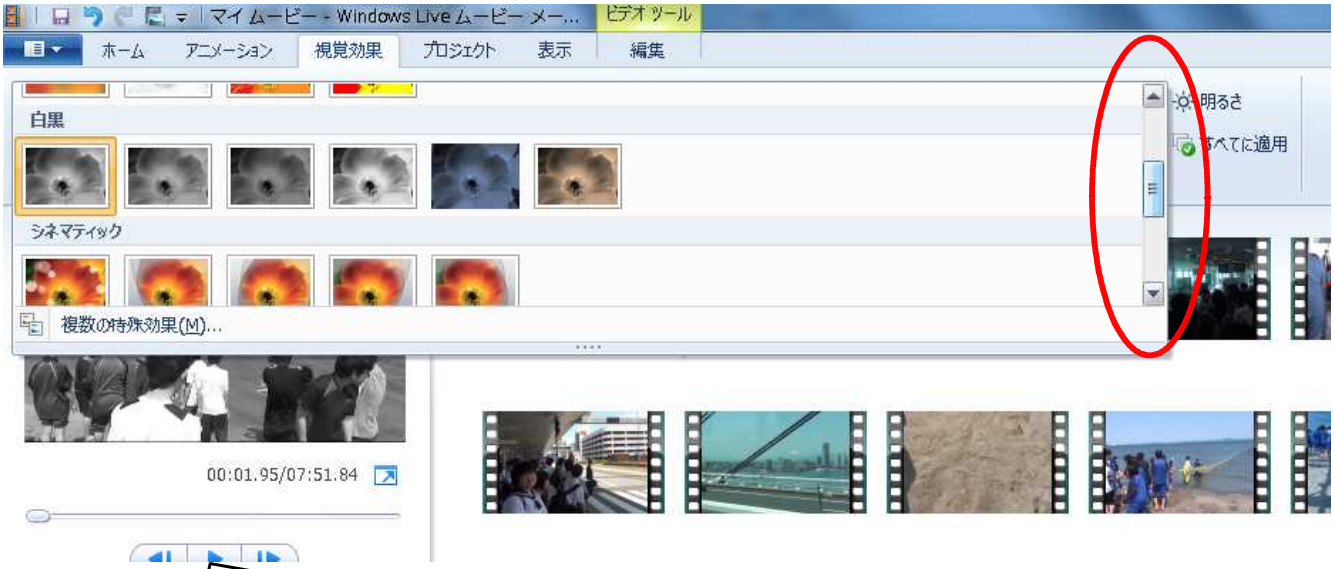
クリップを一度選択（クリック）してから、右クリックし、削除を選択する。または、クリップを選択し Delete キーを押す。

3【編集②】「視覚効果」「アニメーション」を追加しよう

それぞれの動画ファイル（クリップ）を回転させたり、色合いやスピードなど様々な効果を追加することができます

①上部の「視覚効果」をクリック

②１番最初の**クリップを白黒にしてみましょう**
クリップを選択し、白黒の花のボタンをクリックしてください。



プレビューモニタで再生して、特殊効果を確認します

【練習課題】それぞれのクリップに、様々な視覚効果をつけてみましょう

効果が追加されたクリップは、左上にマークが追加されます。

③効果を削除したい場合は、クリップを選択し、
視覚効果の何もないボタンをクリックします。

4【編集③】動画の間に「切り替え効果」を追加しよう

クリップとクリップが切り替わるときに、様々な効果を挿入することができます。使いすぎると、見ていて疲れるものになってしまうので、あくまでもアクセント程度にしましょう(^^;)

①上部の「アニメーション」クリックし、切り替えに効果を加えたい場所の後ろのクリップを選択し、効果をクリックする。

アニメーションの効果の追加されたクリップは左下にマークが表示されます。

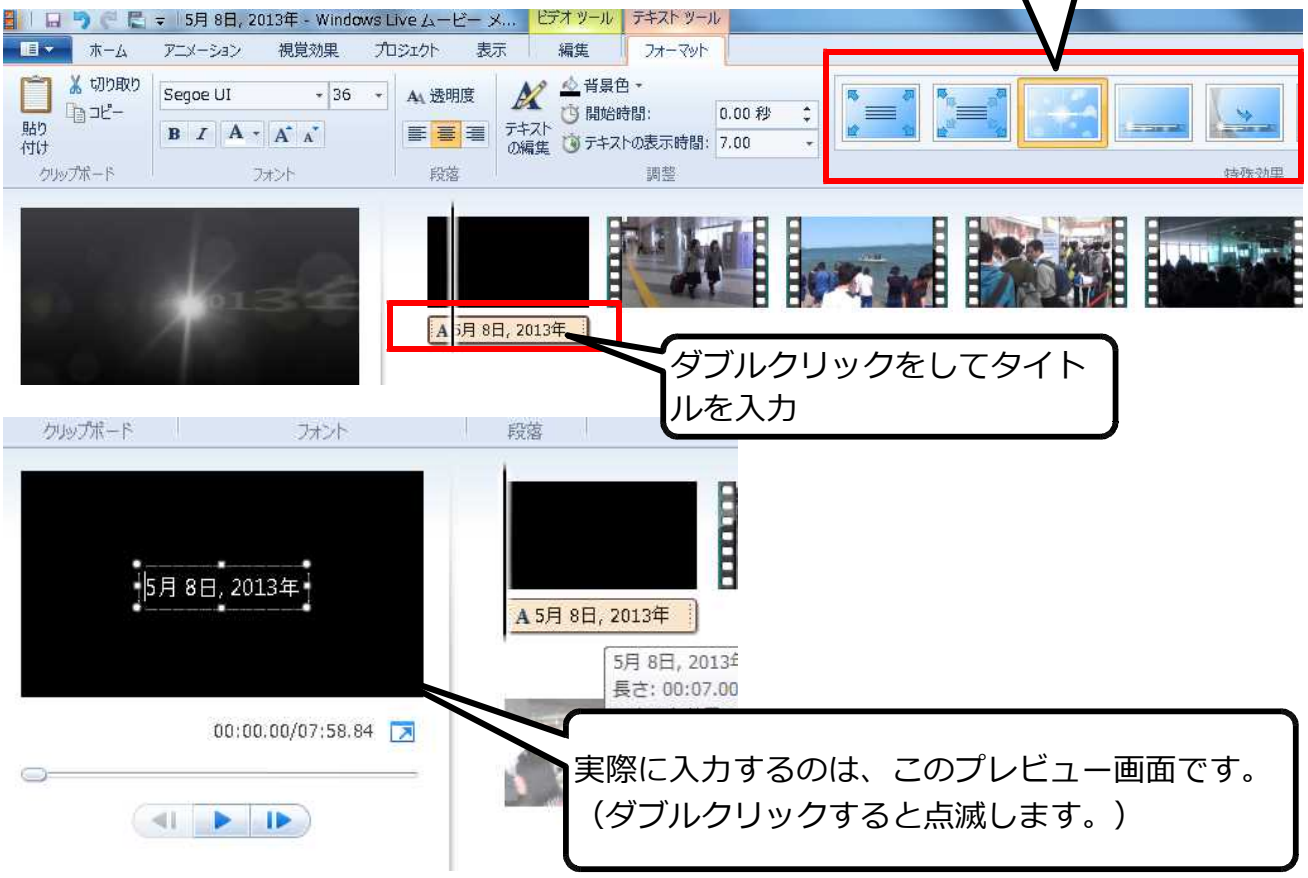
【練習課題３】それぞれのクリップの間に、様々な切り替え効果をつけてみましょう。

5【編集④】タイトルを作ろう

いきなり、ビデオが始まっても何のことやらわからないですよね。
タイトルをつけると、グッとしまり、内容への期待度も高まります。かっこいいタイトルを作りましょう。

①今回は最初にタイトルを入れるので、1 番最初のクリップを選択してから、ホームの**「タイトル」**を　クリックします

②タイトルの種類を選択します。
③次にタイトル画面の下にあるピンクの部分をダブルクリックして、「タイトル」を打ち込みます。

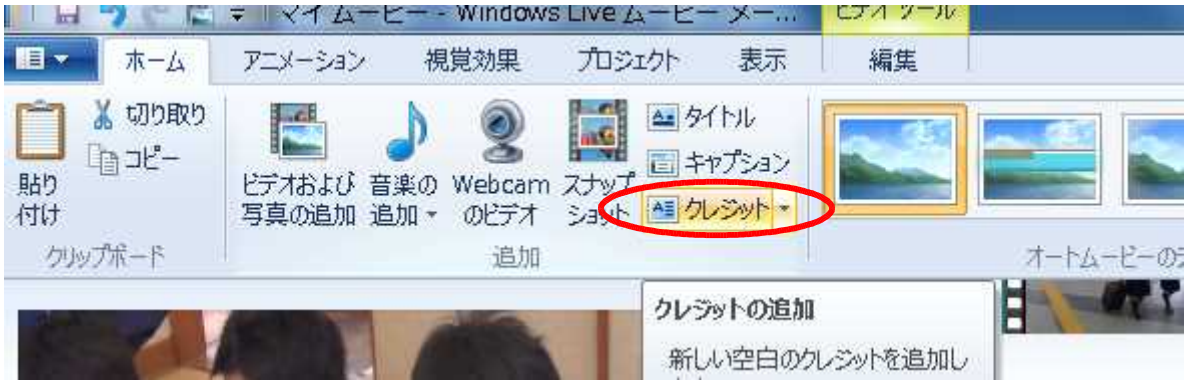


【練習課題４】
　タイトルのアニメーションやフォントなどを変更し、かっこいいタイトルを作成しましょう。

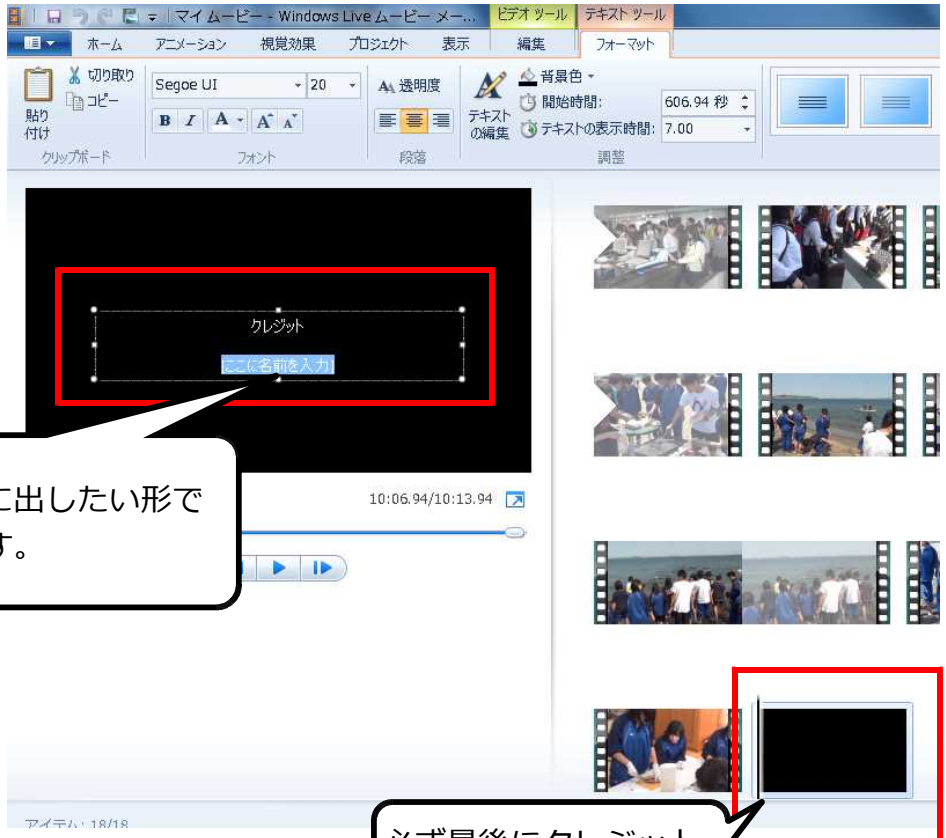
6【編集⑤】クレジットを作ろう

いわゆるエンドロールというやつです。テレビや映画の最後に出てくる上から下に流れるものです。最後は先ほどのタイトル制作の要領で「終わり」でもよいのですが、ムービーメーカーでは簡単にクレジットが作れるので、実際にやってみましょう。

①ホームの**「クレジット」**をクリックします



②クレジットの下の「ここに名前を入力」の欄に名前などを入力する。



ここにエンドロールに出したい形で名前などを入力します。

必ず最後にクレジットとして追されます

7【編集⑥】キャプションを入れよう

それぞれのクリップにコメントなどを入れることができます。その画像が何の場面なのか説明するのに役立ちます。

①キャプションをクリックします。

②映像の下方に「ここにテキストを入力」が出てくるので入力する。

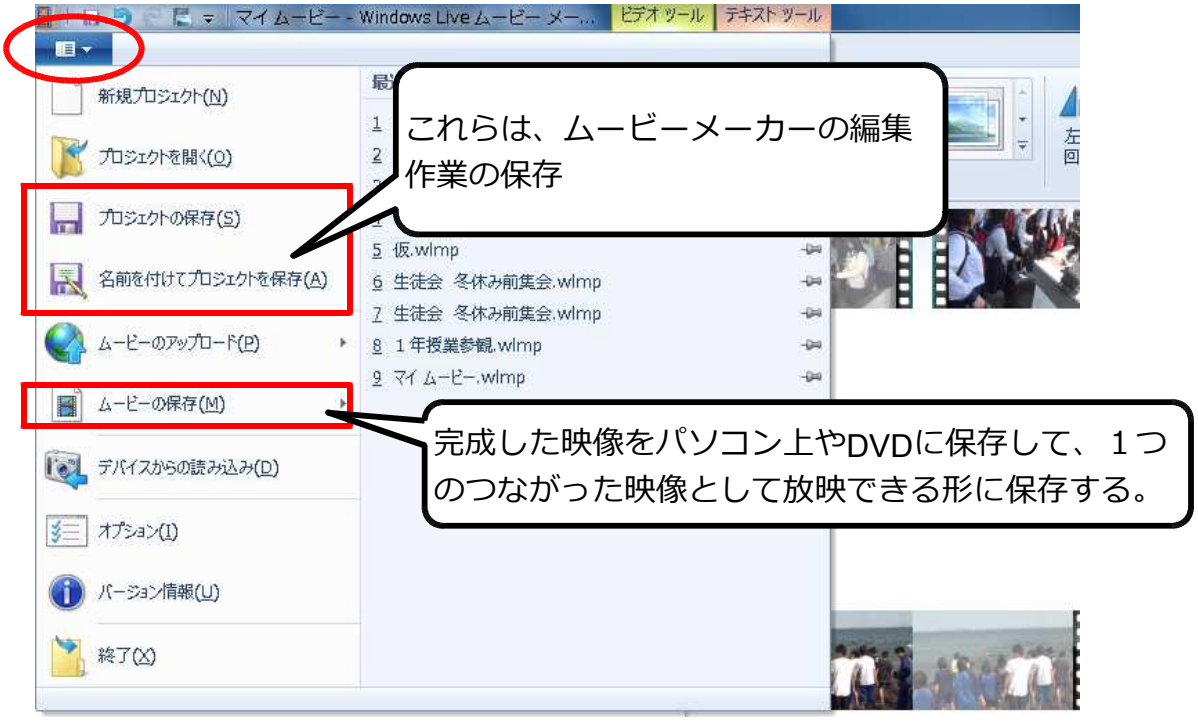
8 完成した動画を保存する

いよいよ完成した作品を保存します。編集した動画の保存はワードなどの文書の保存とは少し違います。「一番左上のマーク」→**「（名前をつけて）プロジェクトの保存」**は完成した動画の保存ではなく、あくまでもムービーメーカーの作業を保存するということです（取り込んだ動画データは別な場所に保存されています）ムービーメーカーの中で作品が完成していても、それはまだバラバラの動画などが見かけ上結合さているだけです。

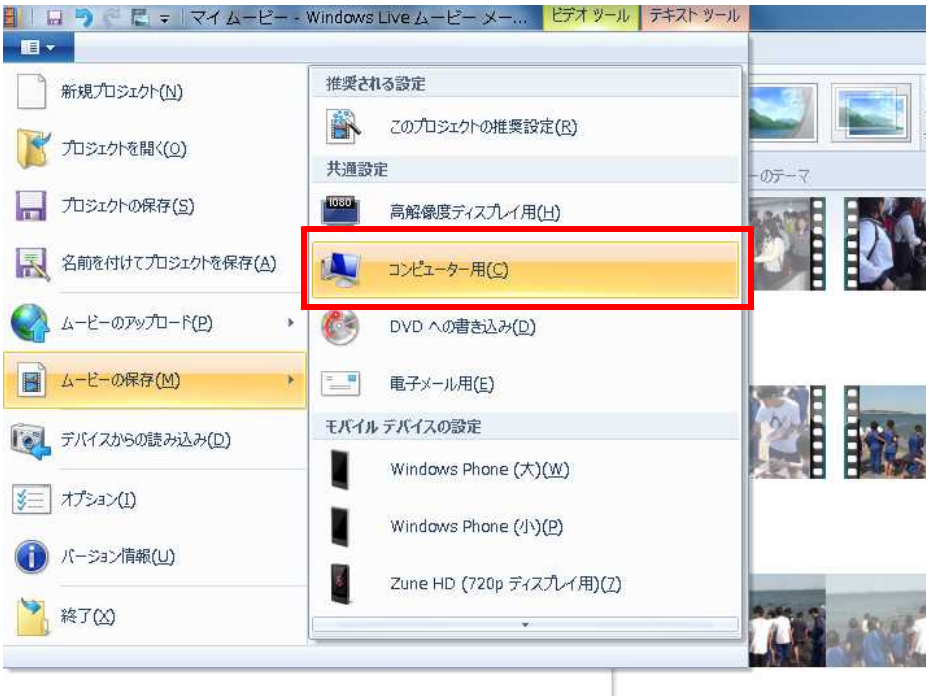
完成した動画をコンピューターやＣＤなどに保存するためには、ムービーメーカーの「ムービーの完了」の作業を行い、１つのまとまったデータにしなくてはいけません。

また、今回はＰＣに保存しますが、直接ＣＤに焼いたり、ＤＶカメラのＤＶテープに保存したり、メールで送信、Ｗｅｂ（インターネット上）に公開することもできます。

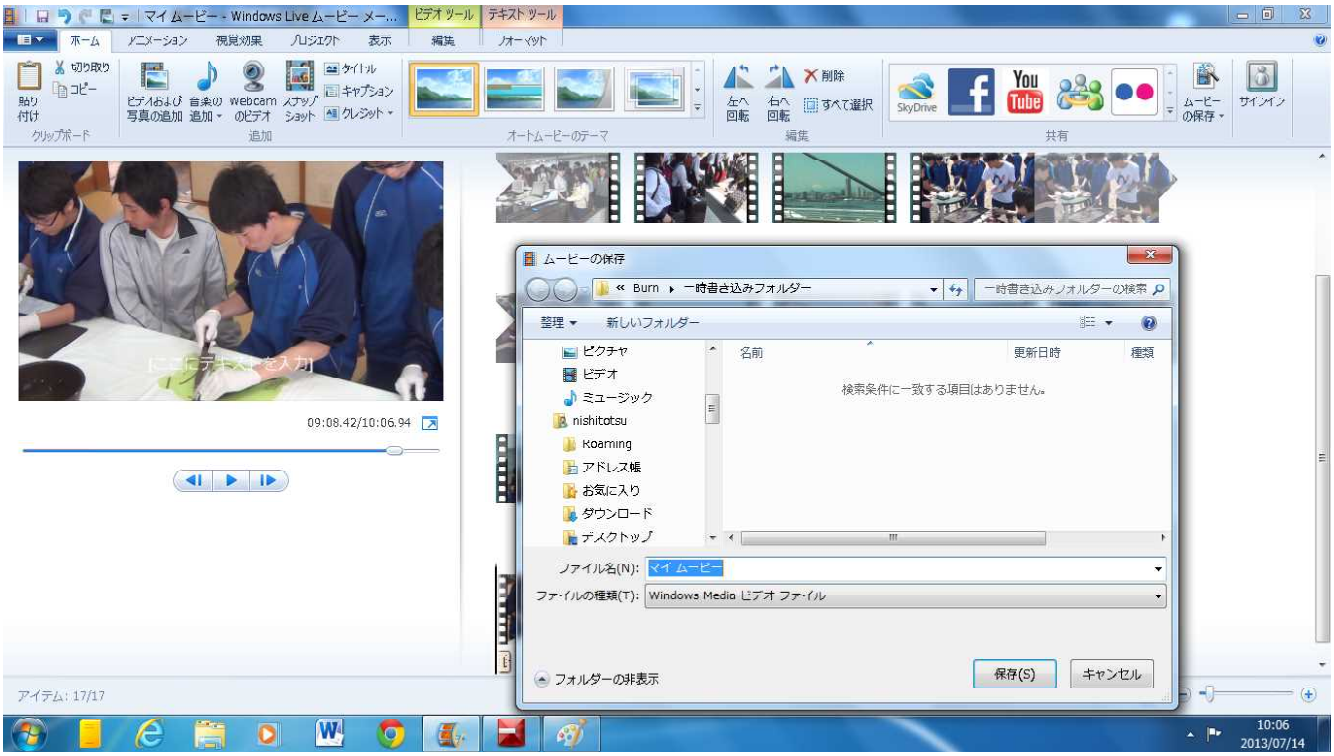
①今回は、コンピューターに保存します。**「ムービーの保存」**をクリック



②次に保存の設定を行います。**「コンピュータ用」**をクリックします。※コンピュータ用のデータを DVD に保存しても、DVD プレーヤーで再生はできません。あくまでパソコン内で見るようです。



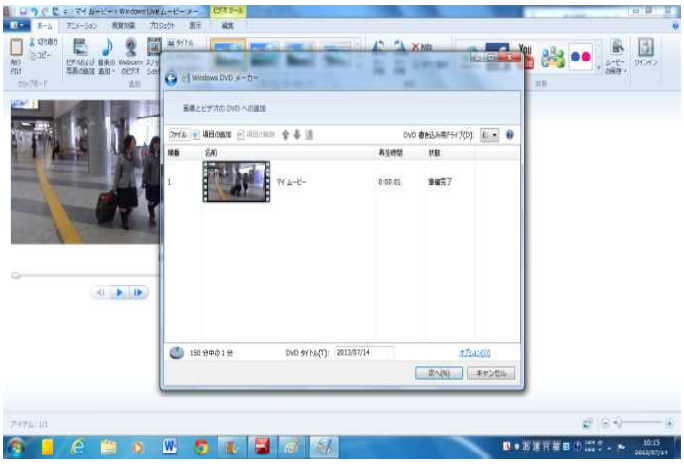
③保存する場所を選んで**「保存」**をクリック



⑤100%まで行くと「完了」画面になります。そのまま完了 をクリックすると、おそらく
Windowsメディアプレーヤーで完成された動画が再生されます(^_^)vちょっと感動します

これでひととおり基本は終わりです。どうですか？思ったより簡単でしょ！？

DVD に保存する場合は、一手間必要ですが、簡単に作成可能です。
手順　① DVD への書き込み　→　②ムービーの保存（一度パソコン内に保存させます。）
→③保存が完了すると自動で DVD メーカーの画面（左側）が出現します。
→④ DVD に保存したいムービーを選択します。（複数可）そして、**「次へ」**をクリック
→⑤ DVD のメニュー画面選択する画面に変わります（右側）。１つ選択します。
→⑥空の DVD を入れて、書き込みをクリックする。

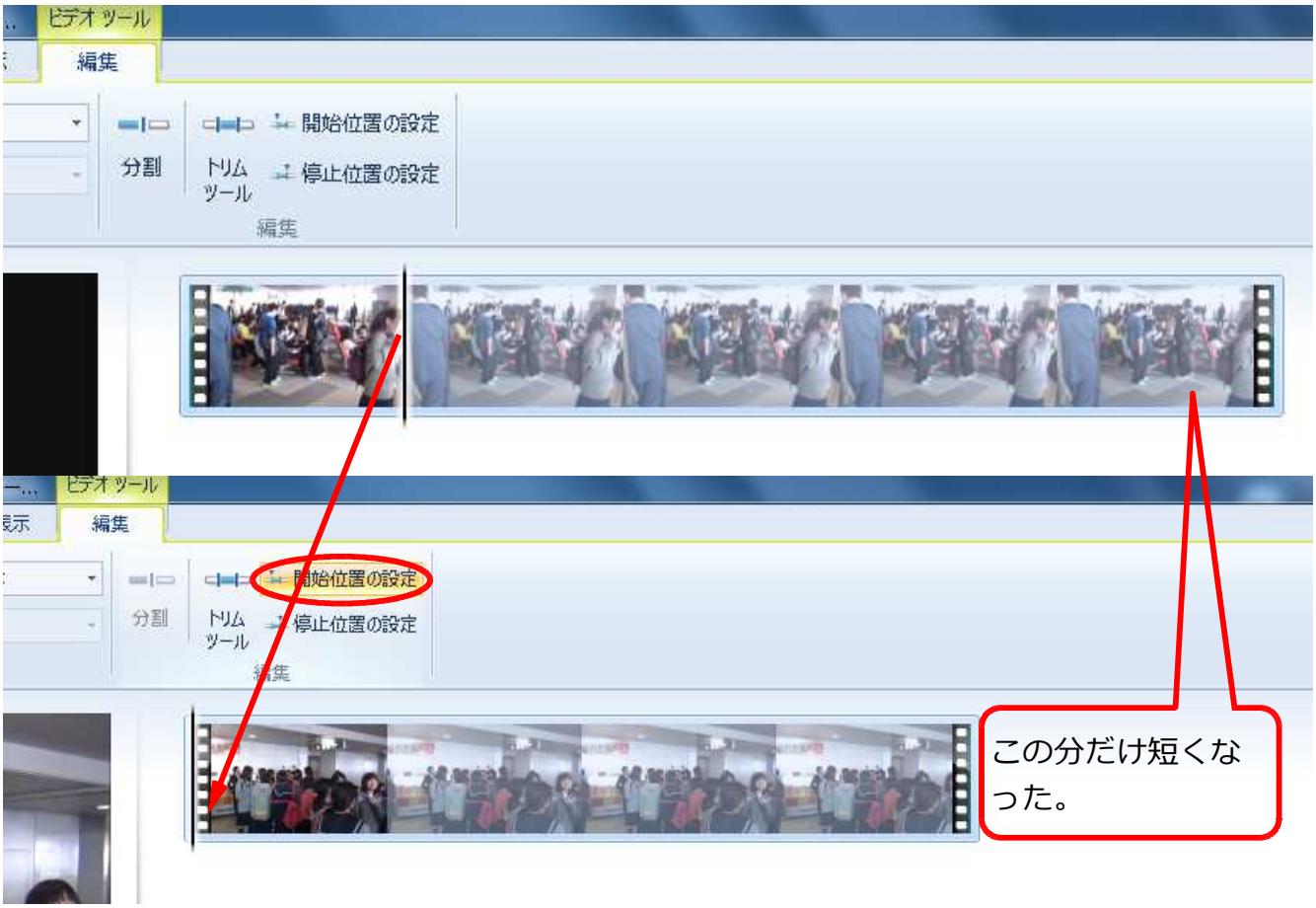


。

３．実践編①

1 ビデオクリップの最初や最後をカットする（トリミング①）

①ビデオの開始したいところに黒い線を合わせる。
②ビデオツール「編集」をクリックして、「開始位置」をクリックすると、開始位置がずれます。



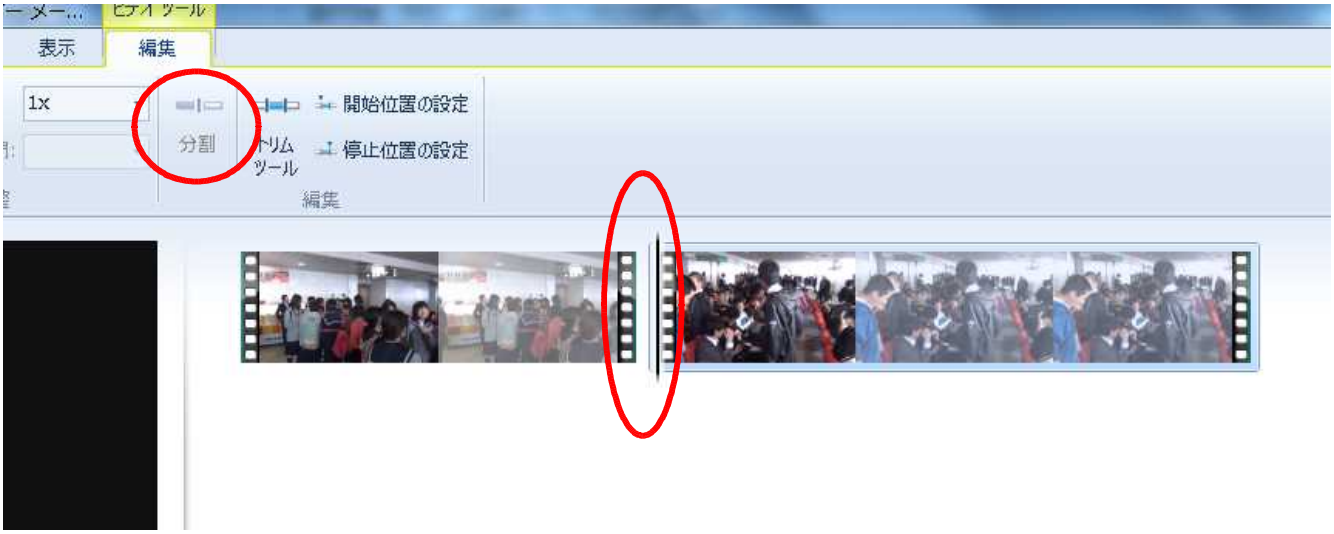
クリップの後ろ側を削除したい場合、同様に停止したい位置に黒い線を合わせて、**「停止位置の設定」**をクリック

2 ビデオクリップを途中で「分割」し、必要のない部分をカットする（トリミング②）

今回は少し長めに撮影した、いくつかの場面から必要な場面を抜き出してつなぎ合わせます。

①分割したいところに黒い線を合わせる。

②ビデオツール「編集」をクリックして、「分割」をクリックすると、映像が分かれますので、必要な処理をしてください。



【実践課題①】残りの動画もそれぞれトリミングをして３０秒ほどのクリップにし、全体で約３分ほどのビデオにしましょう

【実践課題②】各動画の冒頭数秒に「〇〇」とオーバーレイを入れましょう
※同じスタイルのオーバーレイを挿入するときはコピー&貼り付けが便利ですよ

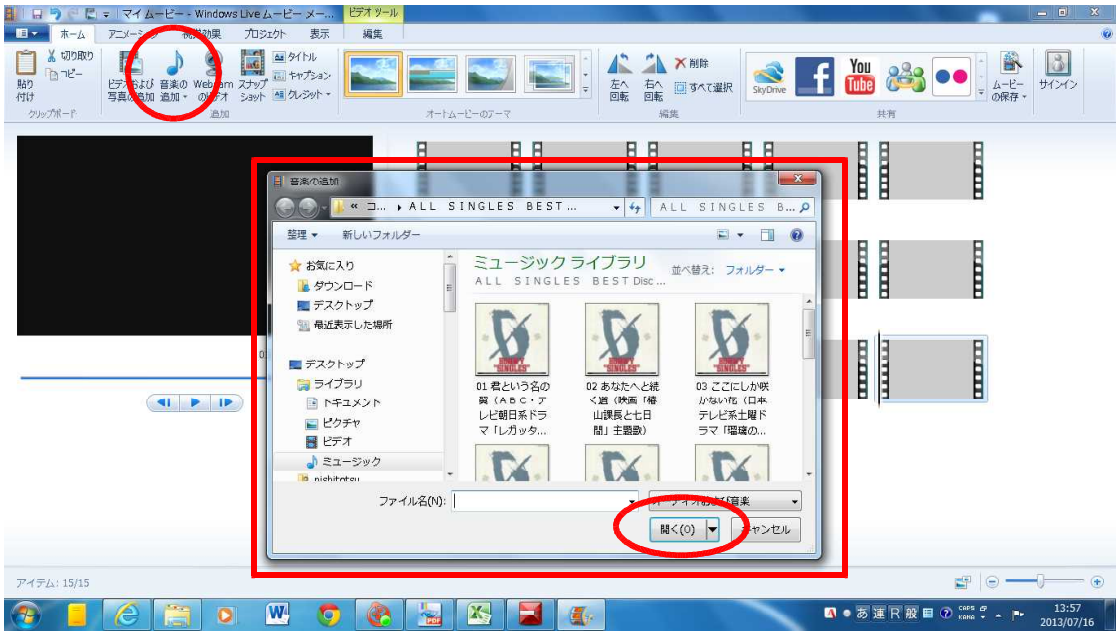
【実践課題③】余裕があれば、ビデオの最初にタイトル「〇〇」、最後にクレジット「制作者など」を作り４分以内のビデオにしましょう。

【実践課題④】さらに余裕があれば、各動画のつなぎ目に「切り替え効果」を入れたり、「特殊効果を」入れましょう

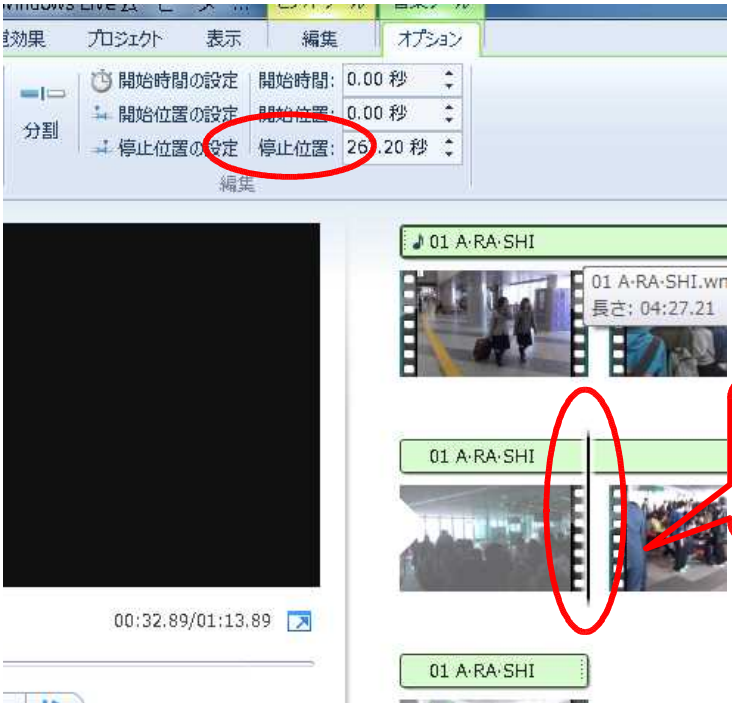
5 BGM(音楽)をつけよう

編集した動画に音楽をつけるだけで、ぐっと雰囲気が変わります。感動的な音楽をかけると何となく感動的な場面になります。今回はＣＤ－Ｒに入っている曲を BGM として挿入しましょう。

①**「音楽の追加」**をクリック
②コンピュータに取り込んである音楽データから挿入したい音楽を選択し、**「開く」**をクリック



②クリップの上に挿入された音楽が表示されます。
③音楽を終えたい場所に黒い線を合わせて、**停止位置**をクリック



停止したい場所に線を合わせる。

③フェードアウトのなどの効果をつけるとだんだん音量が小さくなる設定に変わります。

４．最後に...

さて、今日の講習はどうだったでしょうか？

後半は少し難しくなりましたね。何事も慣れが肝心です。最初は一つ一つの作業が手探りで時間がかかり、投げ出したくなりますが、あきらめずに最後まで取り組むことが大事です。

かっこいいビデオができて、子どもたちが真剣に見つめ、最後に拍手が起こったときは苦労もふっとぶものです。

今日の講習ではムービーメーカーの基本的な機能をできるだけ紹介しました。つきつめると更に細かい設定も可能です。最初は基本的なことから、だんだんと応用していくとよいでしょう。

もし、ムービーメーカーの機能に物足りなさを感じたり、他のソフトにチャレンジしようと思ったら、電気屋さんに行くと多くのビデオ編集ソフトが販売されています。Windowsマシンでは、ユーリード社の「ビデオスタジオ」シリーズ、アドビ社の「プレミア」シリーズがよく使われます。

最近は、Windows8 が発売になり、新たな機種へと変わっています。
Windows8 になるとムービーメーカーが簡単には使えないようになっているようです。映像を読み取るソフトが必要になってしまうようです。私もまだ研究不足ですが、自校の若い先生が文句を言っていました。

時代の流れが速すぎて、私もついていけていないのですが、子ども達に負けないよう頑張りましょう。